

合いことば

知性白新 /
明朗白新 /
ファイト白新 /

白中通信

教育目標

知性の高い
生徒になる

令和6年度 前期始業式

校長 金山光宏

令和6年度の白新中学校が目指す学校の姿は『未来に向けて挑戦し、誰もが憧れる白新中学校』です。

昨年度から先生方で語り合いながら、皆さんにとっても、先生方にとっても、そして地域や保護者の皆さんにとっても、「誰にとっても白新中学校が誇りに思える」、そして、「常に未来志向、挑戦し続ける、外向きな学校」でありたい・・・、「今の君たちとならばそんな学校を創ることができる」と、この学校の姿を設定しました。

「挑戦と憧れ」・・・とても魅力的な言葉ですが、その具体は皆さんの姿を通してしか表現できないのです。その意味で、『未来に向けて挑戦し、誰もが憧れる白新中学校』を目指していくのだということを、皆さんと、今、このタイミングで共有したいのです。

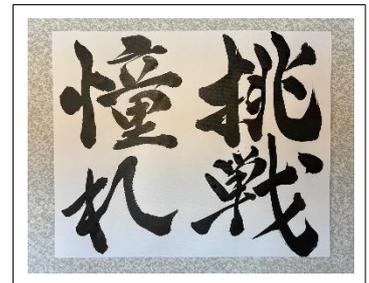
そして、皆さんには、この共通の目標をともに目指していく仲間が存在を、常に強く意識してほしいのです。今日の午後、新入生が入学してきます。令和6年度の白新中学校がこれで本格的に動き始めます。

【挑戦と憧れ、それを共に成し遂げていく仲間が存在・・・、
他者を認め、いい意味で意識し、高め合っていく。】

皆さんがそのような挑戦する姿を見せてくれることは、間違いなく、新入生にとって憧れ以外のなにものでもないはずで。

これからスタートする令和6年度、楽しい予感と可能性しか感じません。

皆で、よいスタートを切っていきましょう！



令和6年度 一新会 入会式・対面式

1年生が一新会（生徒会）に入会し、3年生から一新会や委員会活動について紹介してもらいました。

その後、全校生徒で縦割りレクリエーション「心を1つに白新BINGO」に取り組み、交流を深めました。



令和6年度 転入職員紹介

今年度、12人の職員が白新中学校に赴任しました。
よろしくお願いします。



	名前	(前任校等)
教頭	永井 歓 (ながい かん)	新潟市立上山中学校
教諭	近 まどか (ちか まどか)	新潟市立小針中学校
教諭	川村 真広 (かわむら まさひろ)	新潟大学附属新潟中学校
教諭	近 寛子 (こん ひろこ)	新潟市立上山中学校
教諭	金子 咲峰 (かねこ さほ)	糸魚川市立青海中学校
教諭	大森 千尋 (おおもり ちひろ)	新潟市立小新中学校と兼務
主査	岩倉 匠 (いわくら たくみ)	新潟市立黒埼中学校
支援員	清水 晴子 (しみず はるこ)	新潟市立下山中学校
ソーシャルスキルコーチ	神林 綾子 (かんばんやし あやこ)	新採用
教員業務支援員	金子 恵里子 (かねこ えりこ)	鏡淵小学校と兼務
スクールカウンセラー	阿部 勢津子 (あべ せつこ)	新潟市立山の下中学校他
ALT	Luke FOSTERLING (ルーク フォスタリング)	新潟市立新通つばさ小学校他



今回の「白中通信 第1号」には、入学式にご臨席を賜りましたご来賓のご希望を受け、入学式の「式辞」「祝辞」「新入生代表 誓いの言葉」「生徒代表 歓迎の言葉」を掲載しました。
ぜひご覧ください。



令和6年度入学式

「式辞」

麗らかな春の日差しが、希望の季節の到来を私たちに伝えてくれます。

本日、この佳き日に、新潟市立白新中学校に入学する57名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。3年生、2年生はもちろん、教職員一同、皆さんの入学を心から喜んでます。

輝かしいこの門出に、多数のご来賓、保護者の皆様からご臨席を賜り、令和6年度の入学式を挙げていきますこと、心より御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、今、皆さんの胸の中には、中学校生活への大きな期待と願いがあるはず。今抱いている期待や願いを実現することはもとより、中学校3年間を通して、絶えず目指したい自分の姿はどのような姿であるのかを問い、そのために何をすべきかを追求し続けてほしいのです。このことのより所となる言葉を紹介いたします。

正面の右側上を見てください。白新中学校の教育目標である「知性の高い生徒になる」という額が掲げられています。知性の高い生徒になるとは、自分が置かれている状況や目の前にある課題を的確に把握し、今何をすべきかを、自分の知識や経験等を総動員して考え、よりよい自己のあり方を求めて真剣に努力する生徒になるということです。この教育目標には、これからの未来を担い、たくましく切り拓いていく人材を育てようという高い理想と熱い思いが込められています。

皆さんには、絶えず、なりたい自分の有り様を想い、それを実現するための努力を続けてほしいと願っています。

そのために、まずは大切にしてほしいことは人と人の関わりです。自己の成長には、目的を共有する仲間が存在が不可欠なのです。いわゆる、他者意識をどれほど持っているかによって、人の振る舞いは大きく変わり、気づきや思考の深さに違いが出てきます。他者意識というのは、周囲の人の存在を認め、尊重するということです。

「存在を認め尊重すること」と聞くと、とても難しいことのように思うかもしれませんが、挨拶・拍手・返事といった日常の当たり前の行為は他者意識の表れに他なりません。特に、拍手は「賛同」や「承認」、「感謝」や「激励」など、様々な思いをその場にいる多くの人々と心を合わせて相手に伝えることができる、とても素晴らしいコミュニケーションの手段なのです。白新中学校では、他者意識の表れとして、心のこもった拍手を送ることをとても大切にしています。たとえ、連絡であっても前に立って話した仲間に全校が拍手をして応えます。これは前に立った仲間の存在を認める「承認の拍手」なのです。

このように相手の存在を認め尊重するという互いの関係性の中で、皆さんには意識して取り組んでほしいことが3つあります。

1 つめは、自分から積極的に考え、よりよく判断し、そして自分の思いを臆することなく表現してほしいのです。学校生活は学びの場の連続です。授業はもちろん、行事や生徒会活動、そして何気ない日常の場面においても、人と人の関わり合いの中から、たくさんの気づきや発見が得られます。積極的に行動する、自分の考えを伝える、仲間や先生の言葉にしっかりと耳を傾ける、わからないことは尋ねてみる、このような自分から働きかけていくことがより豊かな学びにつながるのです。

2 つめは、人と違うことを恐れない、お互いの違いを大切にしてほしいということです。たくさんの仲間との生活です。考え方や感じ方が違う仲間がいるのは当たり前のことです。自分ももつ違いの中に「個性」があり、仲間ももつ違いの中に「魅力」があるのです。「個性」というのは集団の中で認められながら磨かれていくものです。自分を大切に、他人のもつ「よさ」も語ることができる。そんな人に成長してほしいと願っています。

3つめは、挑戦し、やり抜く姿勢をもち続けてほしいということです。今、社会は絶えず変化し、そのスピードも加速しています。当たり前だと思っている考え方や、社会を支えている技術は絶えず変化していきます。このような変化の激しい時代を切り拓いていくためには、高い志をもち、努力し続ける姿勢が不可欠なのです。皆さんには、中学校生活を通して、高みを目指して挑戦し、粘り強く取り組んでいく経験を積み重ねてほしいのです。そして自信をもって歩み続けていける、そんな人に育ってほしいと願っています。

以上の3つのことを、心こめて、中学校生活をより豊かなものにしてほしいと期待しています。皆さん1人1人が、この白新中学校にとって大切な存在であり、共に新しい未来を創り上げていく仲間となるのです。

保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。本日、確かに白新中学校の生徒としてお預かりいたしました。これからの3年間が子どもたちにとって生涯心に残り、人生の支えとなるよう教職員一同、誠心誠意、努めて参ります。皆様には、当校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、ご来賓の皆様には、新入生はもとより白新中学校 189名の全校生徒の健やかな成長のために、今後とも温かいお力添えを賜うたく、衷心よりお願い申し上げます。

中庭の木々や大地に、さらなる芽吹きを感じながら、新入生の入学を祝福し、式辞いたします。

令和6年4月5日

新潟市立白新中学校長 金山光宏



「祝辞」

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。また、本日まで立派にご子息を育ててこられた保護者の皆様、心よりお祝い申し上げます。ご来賓の皆様、地域の皆様、本日はお忙し中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

新入生の皆様、皆様の中にある「やってみたい」ことは何ですか？ たった今、入学式が終わったらやってみたいこと。今日、家に帰ったらやってみたいこと。いつかはやってみたいこと。でも実は、皆様は、今までにもたくさんの「やってみたい」を実現してきたと思います。

皆様が「やってみたい」を実現するたびに、皆様の世界は広がってきました。世界が広がれば新しい「やってみたい」が生まれます。そして、皆様は、広がり始めた世界の中で、とても大きな「やってみたい」に出会うと思います。もしかしたら既に出会っている人もいるかもしれませんが、実現するにはあまりにも遠い道のり、高い壁。何から始めれば良いのかも分からない。そう思う人がいるかもしれませんが、でも、大丈夫です。きっと実現できます。

皆様は、今、中学生になりました。これから皆様の中で大きな変化が生まれます。今まで経験したことや、学んだことが実を結び、皆様の「やってみたい」を実現していく力が、急遽に大きくなっていくことです。その力は、小さな「やってみたい」をコツコツ実現していくことで、さらに大きく成長していきます。今までの自分では実現できなかった大きな「やってみたい」も実現できるようになっていきます。

皆様の中で次々と湧き上がるいろいろな「やってみたい」を大事にして、いつの日か皆様だけの「やってみたい」を実現してください。

新入生の皆様の今後益々のご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。本日はご入学誠にありがとうございます。

令和6年4月5日

新潟市立白新中学校 親学会会長 嶋津裕樹



「新入生代表 誓いの言葉」

さわやかな風が吹くなか、私たちは今日、伝統ある白新中学校の生徒としての第一歩を踏み出しました。本日は、私たち新入生のために、このような素晴らしい入学式を行なっていただき、誠にありがとうございます。また、私たちの新しいスタートのために、お忙しい中お越しいただいた来賓の皆様へ、心から感謝申し上げます。

私たちは、今日から白新中学校の生徒になりました。白新中学校で過ごす日々の中で、友達との関わりや勉強はもちろん、学校行事、放課後活動などにおいても積極的に行動したいと思います。小学校とは違うところが沢山あると聞き、今はまだ不安の方が大きいですが、楽しみもあります。中学校生活において、私は3つの目標を立てました。

まず、学業についてです。これまでより難しくなるため、日常の授業が最も大切だと考えています。授業でわからないことは、その日のうちに理解することを頑張りたいと思います。

次に、挨拶や礼儀を大切にしたいと考えています。私が卒業した鏡淵小学校では「あいさつ日本一の学校」を目指してきたので、あいさつには特に力を入れていました。小学校6年間において、コミュニケーションの大切さを学び、また、中学校生活において、先生方をはじめ、先輩、仲間との良い関係が何より重要だと考えたからです。

最後は、楽しむことです。何事にも楽しむことがいざばんの原動力だと思います。たくさんの友達とこれからの3年間、共に笑い、学び、成長し、互いを尊重し合って強い絆を築いていきたいです。様々な不安はありますが、ポジティブに楽しむという気持ちを忘れず過ごしたいと考えています。

この3つの目標を達成した時、私は時を忘れるほど充実した生活が送れていることと思います。しかし、達成するまでにたくさんの壁にぶつかり、立ち止まってしまうことがあると思います。そんな時は諦めるのではなく、友達と手を取り合い、時には先生方、先輩方、保護者の皆様を助けながら、少しずつ前に進めるように努力していきます。そして、今まで白新中学校の歴史と伝統を築き、守ってこられた先輩方に取って代わることを目指し、一つ一つの行動に責任を持ち、自立した中学校生活を送れるよう心がけていきたいです。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、先生方、そして先輩方、ご指導をよろしくお願いします。私たちは、白新中学校の生徒としての自覚、誇りを持ち、精一杯歩んでいきます。

令和6年4月5日

新入生代表 渡邊愛望





「生徒代表 歓迎の言葉」



春の日差しが日に日に暖くなり、生命の活力を感じられる季節になりました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

私達、在校生一同、皆さんが白新中学校の仲間になるのを心待ちにしていました。

皆さんは今、どんな気持ちでそこに座っていますか。これからの中学校生活へ希望を抱いている人もいます。緊張して不安になっている人もいます。

安心してください。皆さんが楽しく充実した学校生活を送れるように、私達2、3年生が全力でサポートします。

さて、これから皆さんに白新中の生徒としてぜひ知ってほしい3つのことについてお話します。

まず1つ目は、体育館の壁面、皆さんの向かって右上の言葉についてです。

「知性の高い生徒になる」

これは私達白新中の生徒が目指す姿です。知性が高いというのは単に勉強ができるという意味ではありません。では、どんな意味でしょう。

白新中学校は他校と比べて校則が少ないと言われています。これは「より質の高い楽しい学校」を目指して、生徒自らが考えたり、判断したりすることを大事にしているからです。だから、「これをやってみたい！」という挑戦が自由にできます。

また、仲間や上級生と意見交換する機会が豊富にあるのも白新中学校の特徴です。様々な人の考えに触れ、自分の考えをより深めていくことができます。

そして、なりたい自分に向かって努力する。この過程を通して、自分なりに成長していくことが「知性の高い生徒になる」ということなのです。

2つ目は行事についてです。白新中学校には体育祭、演劇発表会、合唱発表会という三大行事があります。どれも生徒が中心となって行事を創り上げます。

体育祭は2つのチームが競技、応援、制作の3つの分野で競います。これから準備が本格的に始まり、5月には本番を迎えます。皆さんも私達2、3年生と一緒に、初めての大きな行事を盛り上げていきましょう。

9月には演劇発表会があります。学年ごとのテーマに沿って脚本をつくり、監督、道具づくりなども生徒の手で行います。1人1人が役割をもって参加するので、とてもやりがいがあります。上級生の演劇を見るのも楽しいので、ぜひ期待してください。

最後は、11月に行われる合唱発表会です。クラス合唱をリハーサルとびあのステージで披露します。練習を通してクラスの仲間との結束力がより強くなります。

これまで「知性の高い生徒」「自分たちで創る行事」について話しました。「本当にできるの？」と思った人もいます。かもしれません。

最後、3つ目はこれらを実現するための秘訣を教えます。

「ゴールの姿を明確にすること」そして、「ゴールに向けて逆算した計画を立てること」です。

私は逆算した計画を立てるのが苦手でいつもギリギリになりがちでした。しかし、意識するようになってから勉強も、行事の準備もスムーズにいき、結果もついてくるようになりました。ぜひ、参考にしてみてください。

最初から完璧にできる人は誰もいません。少しずつ、一步一步を大切にしてください。

さあ、皆さんは今日から白新中学校の生徒です。私たちと一緒に「知性の高い生徒」を目指して学校生活を大いに楽しみましょう。そして大いに成長しましょう。

令和6年4月5日

生徒代表 岡田正太郎